

日本語ファイル圧縮印刷プログラム

藤村, 直美
九州大学工学部情報工学科 | 九州大学情報処理教育センター

<https://doi.org/10.15017/1474957>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 14 (2), pp.282-286, 1981-06-20. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



日本語ファイル圧縮印刷プログラム

藤村 直美 *

1. はじめに

九州大学大型計算機センターでは1980年10月よりFACOM M-200 OS IV/F4に日本語情報システム(JEF)が加わり、漢字を含む日本語文字が扱えるようになった[1]。JEF中のFDMS(和文エディタ)[1, 2]とKING(文章処理)[1, 3]を使うことで、日本語の論文、説明文書、資料等を計算機で作成することができる。ところで、KING(文書処理)は日本語文章を清書して日本語ラインプリンタに出力する機能は有するが、日本語ファイルの内容をそのまま出力する機能を持たない。そこでこれまで九州大学大型計算機センターや東京大学大型計算機センターで一般公開してきた英数字ファイル用の圧縮印刷プログラム(STINGY)[4, 5]を日本語ファイルの印刷に使えるように書きなおした[6]。以後この日本語ファイル用の圧縮印刷プログラムをNSTINGY(Nihongo STINGY)と呼ぶ。

2. 日本語ファイル圧縮印刷プログラム

これまで一般公開してきた英数字ファイル用の圧縮印刷プログラム[4, 5]はラインプリンタ用紙の1ページを左右2段にわけ、英数字ファイルの内容を袋綴じの形式でコンパクトに印刷するプログラムである。各段の1行に英数字ファイルの1行が入りきらない時はあふれた部分を次の行に印刷する。このような印刷形式を採用すると紙の節約になり、真ん中で折畳めるので見やすく、持ち運びにも便利である。新しく実現したNSTINGYでもこれらの特徴はそのまま生かしている。

NSTINGYは出力装置として日本語ラインプリンタを想定している。その出力形式はラインプリンタ用紙1ページを左右2段組とし、9ポイントの大きさの日本語文字の時は1段に40字(図1の出力例参照)、12ポイントの大きさの日本語文字の時は1段に25字(図2の出力例参照)を出力する。各段の1行に入りきらないレコードがある時はあふれた部分を次の行に続けて印刷する。9ポイントの大きさの日本語文字で出力する方がより多くの内容がラインプリンタ用紙1ページに入る。一方、12ポイントの大きさで出力すると、字が大きいので見やすい。これら二つの文字の大きさは次に述べるようにTSSのコマンドパラメータで自由に選択できる。ともかくこのNSTINGYは日本語ファイルの内容を生のまま手軽に印刷して目でファイルの内容を確認することを可能にする。

* 九州大学工学部情報工学科 (現在 九州大学情報処理教育センター)

3. 使用方法

3.1 NSTINGY コマンド

(1) コマンドの形式

NSTINGY	データセット名[. PARM($\{\frac{L}{B}\}$)] [. SY(O)]
---------	--

(2) パラメータ

(a) データセット名

圧縮印刷する日本語ファイル名

(b) PARM

出力文字の大きさを指定する。省略したときは L (Little) が指定されたものと見なし、9 ポイントの日本語文字で印刷する。B (Big) を指定すると 12 ポイントの日本語文字で印刷する。

(c) SY

結果の出力クラスを指定する。省略時は O が指定されたものと見なして日本語ラインプリンタへ出力する。* を指定すると TSS 端末に出力されるが、今のところ日本語ディスプレイ (F6650) しか TSS 端末として使えないので意味がない。

3.2 使用例

(a) 分割型順編成ファイルのメンバーを出力する時

NSTINGY JEF. TEXT (MEMBER)

(b) 順編成データセットを出力する時

NSTINGY JEF. TEXT

データセット名: QC81AGEN.TEXT

1 頁

2 頁 圧縮印刷プログラム 日付 1981年04月09日 時刻 15時53分44秒

```
001001000 @PG=40,66,2,16,9,8@
001002000 @AR=4,4@
001002001 @LN=2@
001002002 @FM=C@日本語ファイル圧縮印刷プログラム
001002003 @NL@ @FM=R@藤村直美 (九州大学工学部情報工学科) @NL@ @FM=L@
001003000 @NL@ 1. @UL@ はじめに@UE@
001004000 @NL@ 九州大学大型計算機センターでは1980年10月よりFACOM M-200
OS!V/F4に日本語情報システム(JEF)が加わり、漢字を含む日本語文字が扱
えるようになった[1]。
001005000 JEF中のFDMS(和文エディタ)[1,2]とKING(文章処理)[1,3]を使
うことで、日本語の論文、説明文書、資料等を計算機で作成することができる。
001006000 ところで、KING(文章処理)は日本語文章を消書して日本語ラインプリンタに出力す
る機能は有するが、日本語ファイルの内容をそのまま出力する機能を持たない。
001007000 そこでこれまで九州大学大型計算機センターや東京大学大型計算機センターで一般公開し
てきた英数字ファイル用の圧縮印刷プログラム(STINGY)[4,5]を日本語ファ
イルの印刷に使えるように書きなおした。
001008000 以後この日本語ファイル用の圧縮印刷プログラムをNSTINGY(@UL@ @NL@ @UE@ i
hong o STINGY)と呼ぶ。@NL@
001008001 @NL@ 2. @UL@ 日本語ファイル圧縮印刷プログラム@UE@
001008002 @NL@ これまで一般公開してきた英数字ファイル用の圧縮印刷プログラム[4,5]は
ラインプリンター用紙の1ページを左右2段にわけ、英数字ファイルの内容を縦書きの形
式でコンパクトに
001008003 印刷するプログラムである。
001008004 各段の1行に英数字ファイルの1行が入りきらない時はあふれた部分をその次の行に印刷
する。
001008005 このような印刷形式を採用すると紙の節約になり、真ん中で折畳めるので見やすく、持ち
運びにも便利である。
001008006 新しく実現したNSTINGYでもこれらの特徴はそのまま生かしている。
001013000 @NL@ NSTINGYは出力装置として日本語ラインプリンタを想定している。
001013001 その出力形式はラインプリンター用紙1ページを左右2段とし、各段は9ポイントの大
きさの日本語文字の時は1行に40字(図1の出力例参照)、12ポイントの大きさの
日本語文字の時は1行に25字(図2の出力例参照)を出力する。
001013002 1行に入りきらないレコードがある時はあふれた部分を続きの行に必要なだけ続けて印刷
する。
001014000 9ポイントの大きさの日本語文字で出力する方がより多くの内容がラインプリンター用紙
1ページに入る。
001015000 一方、12ポイントの大きさで出力すると、字が大きいので見やすい。
001016000 これら二つの文字の大きさは次に述べるようにTSSのコマンドパラメータで自由に選択
できる。
001016001 ともかくこのNSTINGYは日本語ファイルの内容を生のまま手軽に印刷して目でファ
イルの内容を確認することを可能にする。
001017000 @NL@
001018000 @NL@ 3. @UL@ 使用方法@UE@
001018001 @NL@ 3.1 NSTINGYコマンド
001018002 @NL@ (1) コマンドの形式
001018003 @TB=SO,K,F,C,9,L27+,H@
001018004 NSTINGY@CE@ データセット名[,PARM(L)][,SY(O)]@CE@
@RE@ @TE@
001025000 @NL@ (2) パラメータ
001026000 @NL@ (a) データセット名
001027000 @NL@ 圧縮印刷する日本語ファイル名
001027001 @NL@ (b) PARM
001027002 @NL@ 出力文字の大きさを指定する。
001027003 省略したときはL(@UL@ @L@ @UE@ i t l e)が指定されたものと見なし、9ポイン
トの日本語文字で印刷する。
001027004 B(@UL@ @B@ @UE@ i g)を指定すると12ポイントの日本語文字で印刷する。
001028000 @NL@ (c) SY
001029000 @NL@ 結果の出力クラスを指定する。
```

```
001030000 省略時はOが指定されたものと見なして日本語ラインプリンタへ出力する。
001031000 *を指定するとTSS端末に出力されるが、今のところ日本語ディスプレイ(F6650
)しかTSS端末として使えないので意味がない。
001033000 @NL@ (3) 使用例
001034000 @NL@ (a) 分割型順編成ファイルのメンバーを出力する時
001035000 @NL@ @DN=2@ @PT@ NSTINGY JEFFILE.TEXT(MEMBER) @
PE@
001036000 @NL@ @DN=O@
001037000 @NL@ (b) 順編成データセットを出力する時
001038000 @NL@ @DN=2@ @PT@ NSTINGY JEFFILE.TEXT@PE@
001045000 @NL@ @DN=O@
001046000 @NL@ @UL@ @参考文献@ @UE@
001047000 @NL@ [1] 武富、高木、川崎、富山、柳池、原田、関、末永、清水：日本語情報シス
テムJEFの使用法。九州大学大型計算機センター広報、Vol. 13, No. 4, pp.
406-468, 1980。
001048000 @NL@ [2] 富士通：FACOM OS/IV FDMS(和文エディタ) / JEF解説書
, 64AR-8211-1, 1980。
001049000 @NL@ [3] 富士通：FACOM OS/IV KING(文章処理) / JEF解説書, 7
0AR-8202-1, 1980。
001050000 @NL@ [4] 藤村：圧縮印刷プログラムの改善と使用について。九州大学大型計算機セン
ター広報、Vol. 13, No. 2, pp. 221-224, 1980。
001051000 @NL@ [5] 藤村：圧縮印刷プログラム。東京大学大型計算機センターニュース、Vol
. 12, No. 10, pp. 154-155, 1980。
```

図 1. パラメータ L による出力例

```
001018001   ANLA 3. 1 NST INGY コマンド
001018002   ANLA (1) コマンドの形式
001018003   ATB=SO,K,FC9+L27+H#
001018004   NST INGY @CEA データセット名 [, PARM (L
    ) ], SY (O) ] @CEARESTATE@
001025000   ANLA (2) パラメータ
001026000   ANLA (a) データセット名
001027000   ANLA 庄縮印刷する日本語ファイル名
001027001   ANLA (b) PARM
001027002   ANLA 出力文字の大きさを指定する
001027003   省略したと見なし、9ポイントの日本語で印刷する日本
    たものと異なる、9ポイントの日本語で印刷する日本
    B (a) B (b) B (c) B (d) B (e) B (f) B (g) B (h) B (i) B (j) B (k) B (l) B (m) B (n) B (o) B (p) B (q) B (r) B (s) B (t) B (u) B (v) B (w) B (x) B (y) B (z) B (AA) B (AB) B (AC) B (AD) B (AE) B (AF) B (AG) B (AH) B (AI) B (AJ) B (AK) B (AL) B (AM) B (AN) B (AO) B (AP) B (AQ) B (AR) B (AS) B (AT) B (AU) B (AV) B (AW) B (AX) B (AY) B (AZ) B (BA) B (BB) B (BC) B (BD) B (BE) B (BF) B (BG) B (BH) B (BI) B (BJ) B (BK) B (BL) B (BM) B (BN) B (BO) B (BP) B (BQ) B (BR) B (BS) B (BT) B (BU) B (BV) B (BW) B (BX) B (BY) B (BZ) B (CA) B (CB) B (CC) B (CD) B (CE) B (CF) B (CG) B (CH) B (CI) B (CJ) B (CK) B (CL) B (CM) B (CN) B (CO) B (CP) B (CQ) B (CR) B (CS) B (CT) B (CU) B (CV) B (CW) B (CX) B (CY) B (CZ) B (DA) B (DB) B (DC) B (DD) B (DE) B (DF) B (DG) B (DH) B (DI) B (DJ) B (DK) B (DL) B (DM) B (DN) B (DO) B (DP) B (DQ) B (DR) B (DS) B (DT) B (DU) B (DV) B (DW) B (DX) B (DY) B (DZ) B (EA) B (EB) B (EC) B (ED) B (EE) B (EF) B (EG) B (EH) B (EI) B (EJ) B (EK) B (EL) B (EM) B (EN) B (EO) B (EP) B (EQ) B (ER) B (ES) B (ET) B (EU) B (EV) B (EW) B (EX) B (EY) B (EZ) B (FA) B (FB) B (FC) B (FD) B (FE) B (FF) B (FG) B (FH) B (FI) B (FJ) B (FK) B (FL) B (FM) B (FN) B (FO) B (FP) B (FQ) B (FR) B (FS) B (FT) B (FU) B (FV) B (FW) B (FX) B (FY) B (FZ) B (GA) B (GB) B (GC) B (GD) B (GE) B (GF) B (GG) B (GH) B (GI) B (GJ) B (GK) B (GL) B (GM) B (GN) B (GO) B (GP) B (GQ) B (GR) B (GS) B (GT) B (GU) B (GV) B (GW) B (GX) B (GY) B (GZ) B (HA) B (HB) B (HC) B (HD) B (HE) B (HF) B (HG) B (HH) B (HI) B (HJ) B (HK) B (HL) B (HM) B (HN) B (HO) B (HP) B (HQ) B (HR) B (HS) B (HT) B (HU) B (HV) B (HW) B (HX) B (HY) B (HZ) B (IA) B (IB) B (IC) B (ID) B (IE) B (IF) B (IG) B (IH) B (II) B (IJ) B (IK) B (IL) B (IM) B (IN) B (IO) B (IP) B (IQ) B (IR) B (IS) B (IT) B (IU) B (IV) B (IW) B (IX) B (IY) B (IZ) B (JA) B (JB) B (JC) B (JD) B (JE) B (JF) B (JG) B (JH) B (JI) B (JJ) B (JK) B (JL) B (JM) B (JN) B (JO) B (JP) B (JQ) B (JR) B (JS) B (JT) B (JU) B (JV) B (JW) B (JX) B (JY) B (JZ) B (KA) B (KB) B (KC) B (KD) B (KE) B (KF) B (KG) B (KH) B (KI) B (KJ) B (KK) B (KL) B (KM) B (KN) B (KO) B (KP) B (KQ) B (KR) B (KS) B (KT) B (KU) B (KV) B (KW) B (KX) B (KY) B (KZ) B (LA) B (LB) B (LC) B (LD) B (LE) B (LF) B (LG) B (LH) B (LI) B (LJ) B (LK) B (LL) B (LM) B (LN) B (LO) B (LP) B (LQ) B (LR) B (LS) B (LT) B (LU) B (LV) B (LW) B (LX) B (LY) B (LZ) B (MA) B (MB) B (MC) B (MD) B (ME) B (MF) B (MG) B (MH) B (MI) B (MJ) B (MK) B (ML) B (MM) B (MN) B (MO) B (MP) B (MQ) B (MR) B (MS) B (MT) B (MU) B (MV) B (MW) B (MX) B (MY) B (MZ) B (NA) B (NB) B (NC) B (ND) B (NE) B (NF) B (NG) B (NH) B (NI) B (NJ) B (NK) B (NL) B (NM) B (NO) B (NP) B (NQ) B (NR) B (NS) B (NT) B (NU) B (NV) B (NW) B (NX) B (NY) B (NZ) B (OA) B (OB) B (OC) B (OD) B (OE) B (OF) B (OG) B (OH) B (OI) B (OJ) B (OK) B (OL) B (OM) B (ON) B (OO) B (OP) B (OQ) B (OR) B (OS) B (OT) B (OU) B (OV) B (OW) B (OX) B (OY) B (OZ) B (PA) B (PB) B (PC) B (PD) B (PE) B (PF) B (PG) B (PH) B (PI) B (PJ) B (PK) B (PL) B (PM) B (PN) B (PO) B (PP) B (PQ) B (PR) B (PS) B (PT) B (PU) B (PV) B (PW) B (PX) B (PY) B (PZ) B (QA) B (QB) B (QC) B (QD) B (QE) B (QF) B (QG) B (QH) B (QI) B (QJ) B (QK) B (QL) B (QM) B (QN) B (QO) B (QP) B (QQ) B (QR) B (QS) B (QT) B (QU) B (QV) B (QW) B (QX) B (QY) B (QZ) B (RA) B (RB) B (RC) B (RD) B (RE) B (RF) B (RG) B (RH) B (RI) B (RJ) B (RK) B (RL) B (RM) B (RN) B (RO) B (RP) B (RQ) B (RR) B (RS) B (RT) B (RU) B (RV) B (RW) B (RX) B (RY) B (RZ) B (SA) B (SB) B (SC) B (SD) B (SE) B (SF) B (SG) B (SH) B (SI) B (SJ) B (SK) B (SL) B (SM) B (SN) B (SO) B (SP) B (SQ) B (SR) B (SS) B (ST) B (SU) B (SV) B (SW) B (SX) B (SY) B (SZ) B (TA) B (TB) B (TC) B (TD) B (TE) B (TF) B (TG) B (TH) B (TI) B (TJ) B (TK) B (TL) B (TM) B (TN) B (TO) B (TP) B (TQ) B (TR) B (TS) B (TT) B (TU) B (TV) B (TW) B (TX) B (TY) B (TZ) B (UA) B (UB) B (UC) B (UD) B (UE) B (UF) B (UG) B (UH) B (UI) B (UJ) B (UK) B (UL) B (UM) B (UN) B (UO) B (UP) B (UQ) B (UR) B (US) B (UT) B (UU) B (UV) B (UW) B (UX) B (UY) B (UZ) B (VA) B (VB) B (VC) B (VD) B (VE) B (VF) B (VG) B (VH) B (VI) B (VJ) B (VK) B (VL) B (VM) B (VN) B (VO) B (VP) B (VQ) B (VR) B (VS) B (VT) B (VU) B (VV) B (VW) B (VX) B (VY) B (VZ) B (WA) B (WB) B (WC) B (WD) B (WE) B (WF) B (WG) B (WH) B (WI) B (WJ) B (WK) B (WL) B (WM) B (WN) B (WO) B (WP) B (WQ) B (WR) B (WS) B (WT) B (WU) B (WV) B (WW) B (WX) B (WY) B (WZ) B (XA) B (XB) B (XC) B (XD) B (XE) B (XF) B (XG) B (XH) B (XI) B (XJ) B (XK) B (XL) B (XM) B (XN) B (XO) B (XP) B (XQ) B (XR) B (XS) B (XT) B (XU) B (XV) B (XW) B (XX) B (XY) B (XZ) B (YA) B (YB) B (YC) B (YD) B (YE) B (YF) B (YG) B (YH) B (YI) B (YJ) B (YK) B (YL) B (YM) B (YN) B (YO) B (YP) B (YQ) B (YR) B (YS) B (YT) B (YU) B (YV) B (YW) B (YX) B (YY) B (YZ) B (ZA) B (ZB) B (ZC) B (ZD) B (ZE) B (ZF) B (ZG) B (ZH) B (ZI) B (ZJ) B (ZK) B (ZL) B (ZM) B (ZN) B (ZO) B (ZP) B (ZQ) B (ZR) B (ZS) B (ZT) B (ZU) B (ZV) B (ZW) B (ZX) B (ZY) B (ZZ)
001028000   ANLA (c) SY
001029000   ANLA 結果の出力クラスを指定する。
001030000   省略時へ出る出力されたものと見なして日本語ラインプ
    リンタを指定する。T S S 端末に出力されるが、今のところし
    * を指定する。T S S 端末に出力されるが、今のところし
    日本語でない。T S S 端末に出力されるが、今のところし
001031000   ANLA (3) 使用例
001034000   ANLA (a) 分割型順編成ファイルのメンバーを出力する
    時
001035000   ANLA @DN=2@P@NST INGY JEFFFILE. TE
    XT (MEMBER) @PE@
001036000   ANLA @DN=0@
001037000   ANLA (b) 順編成データセットを出力する時
001038000   ANLA @DN=2@P@NST INGY JEFFFILE. TE
    XT @PE@
001045000   ANLA @DN=0@
001046000   ANLA [1] 参考文献
001047000   ANLA [1] 武高木川崎富山柳池原田関
    末永大清水計本寺情報テムジェフの使用法九州
    p.p.算機468.1980.13.N.4
    [2] 富士通 F.A.C.O.S.I.V.F.D.M.S.(
    和文エディタ) / J.E.F.解説書, 64 AR-8211-
    1, 1980.
001049000   ANLA [3] 富士通 F.A.C.O.S.I.V.K.I.N.G.(
    文書処理) / J.E.F.解説書, 70 AR-8202-1,
    1980.
001050000   ANLA [4] 藤村大野圧型印刷機プリンターの改善と使用につ
    いて, 九州大学大野圧型印刷機プリンターの改善と使用につ
    N.2, 藤村大野圧型印刷機プリンターの改善と使用につ
    算機5154.1980.10.
001051000   ANLA [5] 藤村大野圧型印刷機プリンターの改善と使用につ
    p.154.1980.10.
```

図2. パラメータBによる出力例

参 考 文 献

1. 武富, 高木, 川崎, 富山, 柳池, 原田, 関, 末永, 清水 日本語情報システム JEF の使用法, 九州大学大型計算機センター広報, **13**, 4, 1980, 406-468.
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV FDMS (和文エディタ)/JEF 解説書, 64-AR-8211-1, 富士通(株).
3. 計算機マニュアル FACOM OSIV KING (文書処理)/JEF 解説書, 70AR-8202-1, 富士通(株).
4. 藤村 圧縮印刷プログラムの改善と使用について, 九州大学大型計算機センター広報, **13**, 2, 1980, 221-224.
5. 藤村 圧縮印刷プログラム, 東京大学大型計算機センターニュース, **12**, 10, 1980, 154-155.
6. 藤村, 牛島 日本語ファイル用ソフトウェアツール, 情報処理学会第17回ソフトウェア工学研究会報告集, 1981, 65-68.